

事業所名 夢生民

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

20日

法人（事業所）理念	人と人とのつながりのなかで、本人のありのままを認め合える場をつくります。 人と人がつながることで、誰もがゆるやかに成長することをささえます。 人と人がつながることで、愉快地に、楽しく生きることをめざします。		
支援方針	子どもたちが、地域の中で健やかに成長できるように支援していきます。 障がいのある子どもない子ども共に育ちあう場をつくります。 お年寄りやさまざまな人とのふれあいの中で豊かな心をはぐくみます。		
営業時間	・平日 13時30分～18時30分 （学校休業日 9時00分～17時00分）分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	成育歴・生活歴・疾病・障害特性等をご家族から聞き取り、必要に応じて関係機関から情報を得て心身の健康と安全を保つことができるようにしていきます。 食事・着脱衣・排泄等、基本的な生活の確認を行い、一人ひとりの発達段階、場面に応じた道具や環境設定を行う中で、それぞれの生活の力を身につけていきます。 リズムある生活を送る中でご家族との暮らしが楽しく、豊かになるように応援していきます。	
	運動・感覚	遊びを通して粗大運動、微細運動に着目し、一人ひとりの苦手なこと、得意なこと、楽しいことを追及していきます。その中で、苦手なことにも少しずつチャレンジできる場面を設定していきます。（室内遊具のアスレチック・ボルダリング、近隣の公園での外遊び、手芸・工作・アイロンビーズ）また、自然の中で（土・水・風・草花・木など）「五感」で感じる体験を取り入れることにより自分の心と体のバランス、感じ方を自ら知ることができるようにしていきます。	
	認知・行動	納得いかずに自分の気持ちを調整できないこともあります。そんな時には、ゆっくり話を聞き、一緒に考え伝え合い、自分の気持ちと行動、相手の気持ちと行動に折り合いをつけ自ら行動できるようにしていきます。認知・行動に関しては経験の積み重ねと子ども自身の力を信じて待つことが大切であると考えています。 プログラムの中で、子どもたち自身が自己決定し意欲的に行動できるように、必要な情報をわかりやすく伝える工夫と環境設定をしていきます。	
	言語 コミュニケーション	子ども達のことばや会話を大切にしていきます。楽しい会話、心地よい会話の中で子どもたちの気持ちとことばを引き出していきます。人を傷つけてしまう暴力や暴言等にはその都度立ち止まり、一緒に考え、気持ちとことばのキャッチボールができるようにしていきます。ことばでの理解が困難な子ども達には、ジェスチャー、絵カード、文字等でそれぞれにわかりやすい方法で伝え、コミュニケーションの機会を図っていきます。ことば、コミュニケーションは已受容の場と自己肯定感につながる一歩と考えています。	
	人間関係 社会性	集団の中でいろんな人がいることを学んでいきます。夢生民の子どもたちだけではなく、地域の子どもの交流、家族以外の大人たちとの交流、多様な人間関係を築くことができるようにたくさんの人たちとの出会いの場や交流できる機会を設けていきます。ひとり一人の存在を認め合える関係性の学びを大切にします。 時には喧嘩しながら相手に自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも想像し、折り合いをつける力を身につけていきます。人との距離感、自分の命、まわりの命の大切さを伝えていきます。 今だけではなく大人になっていく子どもたちの姿、思春期、成人期につながることを想像し応援していきます。	
家族支援	子どもを真ん中においた子育ての応援、ご家族のサポートを行っていきます。時には、発達支援センター等と連携しご家族の困りごとに応じ一緒に考えていくことを大切にしています。ご家族の休息等の利用としてショートステイの提供も行っています。	移行支援	医療・学校・他事業所等と情報共有を行い必要に応じて担当者会議・ケース会議等を実施しています。
地域支援・地域連携	他事業所との連携、相談員、学校等との情報共有をしています。また、子どもたちはこの地域の中で生きていくことを念頭におきながら地域のボランティアさんとの交流、共に時間を過ごす中でお互いを理解できる関係を作っていきます。時には「助けて」と言える地域の関係づくりに取り組みます。	職員の質の向上	外部の研修会への参加 内部の事例検討会 資格取得に向けた
主な行事等	季節感や子どもたちの興味関心、やってみたいの気持ちを大切に活動プログラムを設定しています。毎月『夢生民ちびっこカレンダー』を発行し子どもたちが楽しみに見通しをもって活動に参加できるように工夫しています。 お花見・夏休みお泊り会・ヨット・子どもまつり・ハイキング等		